

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年8月3日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104522
法人名	医療法人 サン・レオ会
事業所名	グループホーム ゲンキ館
所在地	鹿児島県鹿児島市上之園町29番地14 (電話) 099-258-7113
自己評価作成日	平成24年7月6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年7月27日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島市の中心部に位置し利便性の高い場所ではあるが、小学校や、高校に囲まれた閑静な住宅地にある。  
人としての尊厳を尊重するという理念に基づいて、懇切丁寧な介護を提供し、皆様と明るく落ち着いた日常がすごせるように日々努力している。  
認知症の症状の進行した方でも、適切な対応ができるようにスタッフ全員研修を受け取り組んでいる。  
階下の医療機関は人工透析も行っているため、認知症で透析治療が必要な方の入居も可能である。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・学校やスーパーマーケットなどがホームの近くにあり、生活の利便性が高い。
- ・同法人の医療機関が同じビルの中にあり、入居者の健康管理や状態の変化にも、直ぐに対処でき、入居者や家族が安心できる体制となっている。
- ・ホーム近隣出身の利用者が多く、地域との交流や災害時の協力体制が盤石である。
- ・管理者及び職員は、「人としての尊厳の保持、地域の中で家庭と同じような生活を確保する」という理念を基に、日々のケアに取り組んでいる。また、職員の入れ替わりが少なく、利用者との馴染みの関係を大切に支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	「人としての尊厳」を大切にしながら家庭的な生活を目指す理念を作り、常に職員は理念を共有し支援している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を、全職員で考えて作り上げている。ミーティング時や日々のケアの中で振り返り、確認を行いながら理念の共有を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	学校区の地域の施設として認知頂ける様に働きかけ、小学校の児童クラブの子供たちとの交流を図っている。また、困った事など相談助言を行っている。	町内会に加入し、回覧板を届けたり、利用者との顔見知りが多く、買い物や散歩時に挨拶や声かけを行っている。小学校の運動会に出かけたり、事業所の敬老会に参加してもらったり、児童クラブの子供たちとも交流している。中学校の体験学習の受け入れも行い、地域との交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	街中の地域性で近隣の付き合いはなかなか出来ないが、民生委員、家族等のつながりで共に認知症の理解が出来る様にしている。また、中学校の福祉体験の場を提供している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の悩みや要望を聞ける場所であり、第三者の意見等を参考に改善に努めサービスの向上に繋げている	会議は、定期的に行われている。利用者や家族が交代で参加し、行事報告やサービスについての案件・避難訓練や評価の取り組み等についての報告を行い、意見交換しながら、支援に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>包括支援センターと連携を図り研修や他事業所との交流が出来るような関係作りを築いている。介護保険以外の利用できるサービスの提供も行っている。</p>	<p>市の担当者とは、事業所の実情等を報告し相談している。地域包括支援センターの職員と連携を図り、協力関係を築くよう取り組んでいる。また、市の介護相談員の受入れを、毎年実施している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>入職時の研修や、月一度の法人内の会議において身体拘束の認識や実態確認を行い、身体拘束廃止委員会を設置し身体拘束につながらない様に認識を深めている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を設置し、マニュアルをもとに、現状を確認し、毎月話し合いを持ち、身体拘束への理解を深めている。日中は、玄関の施錠は行っていない。職員の見守りで、自由な生活の支援をしている。入職時に、身体拘束廃止の研修をしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修や法人内の会議において意見交換を行い、幅広い認識の下でお互いが注意できる立場で意識付けを行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修に参加し、職員間で機会を設け基礎的な理解が出来る様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>ご家族と個別に面談し、十分な理解と納得が得られる様に、丁寧な説明を行い理解していただいている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族の面会や担当者会議の際に他職種の方々とも話せる機会を設けたり、意見箱を設置し意見を運営に反映させている。</p>	<p>家族の面会が多く、面会時に必ず職員が声をかけ、意見等の聴取に努めている。食事のことで家族の思いを聞き、運営に反映させている。意見箱も設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>週一回のミーティングで問題点や意見を出し、法人内の会議において検討し反映させている。</p>	<p>毎週のミーティングで、職員からの意見を聞き、法人内の会議で検討を行っている。代表者や管理者は、できるだけ提案のあった問題点や意見を、解決できるように努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人の希望や条件に沿った就労が出来る様に努め、日々新しい介護の情報を提供し、やりがいや責任の持てる環境整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各研修の案内等は回覧し、資格取得に積極的に取り組める様に情報を提供している。新人研修や内部研修を行い技術の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流はあるが勉強会やネットワークづくりには参加していない。他施設の見学や訪問をしサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	先入観を持たない様に、現在の本人を理解する様に努め、本人の思いが受け止められるようにし話しやすい関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の不安な気持ちや利用者に対する思いを傾聴し受け止め、施設見学をして頂きホームの雰囲気を見てもらい理解を求め良い関係を築ける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	個々の思いや、不安を受け止め、本人の気持ちを表現できるように対応し、家族には他のサービスの説明も行う様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまでの経験や人生観を聞いたり、出来る作業を一緒に行いながら多くの事を学び、お互いを支えあう関係を築いていけるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族と連携を図り、家族の出来る事は積極的にお願いするなど協働しながら共に支え、本人と家族の絆を大切にしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>親しい友人や近所の方々が気軽に訪問されたり、近隣の商店街や散髪屋に行き馴染みの関係を維持できる様にしている。</p>	<p>近隣に住んでいる利用者が多く、お茶を飲みに友人が訪ねてくる。商店街に散歩や散髪に出かけたり、家族の協力を得ながら、墓参りなどに出かけている。馴染みの関係が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>共同作業やレクリエーション、会話などで家族のような関係を築き、言いたい事や、気づいた事はその場で解決出来る様にし和気あいあいの雰囲気づくりに努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>電話や訪問で退所後の近況報告を尋ねたり、気軽に声を掛けられるような関係作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	自己表現ができる方は、できる限り希望や意向を優先している。自己表現の困難な方もその人らしい生活が送れるように努めている。	日常の会話の中から、本人の希望や意向を把握するようにしている。困難な場合は、家族の意見等を聞きながら、本人本意に検討している。利用者の意向等については、ミーティングを通して職員間で共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族や馴染みの方々の話と本人の職業歴など参考にし、自宅で行っていた事などを継続出来る様に把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の生活リズムやペースを大切にしながら時間もかけて、その方のペースに合わせて職員が動くように努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族や他職種の方々の参加で担当者会議を開催し、本人や家族の意向を反映できるように、他職種、スタッフと一緒にアイデアを出し合い計画作成している。	利用者や家族・職員・栄養士・看護師等の意見を聞きながら、担当者会議を開催し、現状に即した介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎に行い、介護計画の見直しをしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や介護の工夫などを個別記録しスタッフ間で共有して、朝の交代時に申し送りしている。状態変化が見られた場合は計画の見直しを行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>協力医療機関との医療連携が出来ており個々のニーズに対応している。リハビリテーションの充実や、他事業所との交流も行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>友人や、近隣の方の面会、民生委員さんの訪問で、まだ地域の一員として暮せる様に支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>基本的にはそれぞれの希望を大切にしている。他科受診は家族が同行されているが、状況によっては職員が同行するなどし、適切な受診が出来る様に支援している。</p>	<p>希望のかかりつけ医の受診を支援している。歯科などの他科受診は家族の協力を得ながら、利用者が、適切な医療が受けられるように支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日々、看護師の協力をもらいスタッフの意識、知識向上につなげている。週一度は受診と健康管理をしてもらい、緊急時に備え看護師が24時間対応出来る体制が出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には主治医より紹介状をもらい提供している、日々の状態や支援に関しては医療機関に介護連絡票を作成し早期に退院が出来る様に情報交換を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の対応や看取りに関する指針を文章化し説明を行っている。その上でなお家族の意向や希望を優先し、主治医、家族、職員と密に連携を図り可能な限り対処対応出来る様に支援している。</p>	<p>入居時に、本人や家族に重度化や終末期に対する指針を説明している。ホームだけの対応でなく、家族との信頼関係を作り、協力をお願いしている。家族と職員と主治医で情報を共有して取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを作成している。階下の看護師の指導を受けながら応急手当や初期対応を訓練し実践に生かしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練は法人全体で行い、マニュアルも作成している。また近所に住まいの家族にも協力をお願いしている。</p>	<p>年2回避難訓練を消防署の指導のもと、マニュアルに沿って、昼夜間想定で実施している。地域の消防団との協力体制もできている。また、通報や消火訓練を行い、緊急連絡網により、家族の協力も得られるようになってきている。災害時の食料等やオムツなどの備蓄も準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者として尊敬し、馴れ合いからくる言葉使いや態度に注意し一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねない様に対応している。	職員は、理念に基づいて一人ひとりを大切に、特に年長者を尊敬するようにミーティングなどで、お互いに注意し合っている。入浴や排泄時は、言葉使いや対応においても、充分留意してケアを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員は一人ひとりの個性を捉え、その時々を思いを汲み取り本人の希望が叶えられる様に働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人のペースを尊重しながら皆さんと過ごせる時間も確保し、入浴や食事の時間もできる限り柔軟に対応できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の好みや希望を尊重し、更衣や服の選択などを楽しみながら行え、パーマや毛染め等も本人の希望に添える様に支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備は出来ることをお願いし、食事の時間は楽しい雰囲気になる様に心掛けながら支援している。	職員と利用者が、一緒に盛り付けや配膳・下膳を行ったり、簡単なおやつなどを作ることもある。食事の形態は、個々に合わせて行っており、食事が楽しみになるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	管理栄養士の指導のもと、栄養 バランスや水分量の確認を行 い、その方に合った量、形態の 提供も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の 力に応じた口腔ケアをしている	食後は毎回口腔ケアを行い口腔 内の様子を確認している。自歯 の方は特に注意し定期的に提携 の歯科医の指導、助言も受けて いる。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣 を活かして、トイレでの排泄や排泄の自 立に向けた支援を行っている	個別の排泄状況を確認し、トイレ 誘導を行い自立に向けた取り 組みを行っている。自立の方々 は維持できるように声掛けや見 守りを行い支援している。	日中は、ほとんどの人がパンツ やリハビリパンツで過ごしてい る。排泄パターンや習慣を活か し、声かけしてトイレでの排泄 を行い、自立への支援を行って いる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、個々 に応じた予防に取り組んでいる	排泄の状況を把握し、週に一回 は主治医の適切な指導や服薬の 処方を受け、繊維の多い食事や 運動を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めているが、本人の希望に沿って、いつでも入浴できるように柔軟に対応している。	入浴日は決めているが、時間帯は、一人ひとりの希望や状態に応じて入浴の支援を行っている。入浴を拒否する利用者には、時間をずらしたり、大浴場を使うなどして、利用者が楽しめるように工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の生活パターンが出来ており、体調などを考慮し自室で休んだり、ホールのソファでくつろいだりし、休息が取れる様に支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は一人ひとりの薬の内容を処方箋で確認し理解している。変化が見られたら主治医に報告し情報を共有出来る様に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月ごとに飾り付けを変えたり、得意な事や、出来ることを無理なくレベルに応じて行ってもらい、楽しみや気分転換になる様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	散髪や近隣に買い物に行ったり、家族と自宅の様子を見に出かけたり、外食や外泊できるように支援している。	日常的に散歩や近くの商店街・買い物にでかけている。家族の協力を得ながら、自宅訪問や外食・花見・ドライブ等に出かけたり、年に数回は車を使っての外出を計画中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理ができる方には財布を持っていただき、買い物に行く時は、お金を自分で払えるように支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者が家族に用事を頼んだり、友人から手紙を頂いたりしている。一人ひとりが年賀状を家族に出し喜ばれている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間は季節感を出せる様に工夫し、空気の入替えや、温度調整にも気をつけている。共有部は清潔を保ち、居心地の良い環境作りを心掛けている。</p>	<p>玄関からリビングまで広い廊下があり、このホームの特長となっている。また、換気や温度調整に心がけ、生活感や季節感に配慮した居心地のよい共用空間になっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>馴染みの席を作り、食事やゲーム、工作など、気の合った同士で、和気あいあいと話せ楽しい場所の提供ができる様に工夫している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に家族と相談し馴染みの物や好みの物を選び、安心出来心地よく過ごせるように工夫している。</p>	<p>居室の入り口に、それぞれの好みの暖簾がかかっており、壁に季節の装飾がある。家族とも相談し、使い慣れた家具や写真・植物など、馴染みの物を置いたりして、特長のある居心地のよい居室になるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや浴室、玄関や廊下など安全に過ごせるように環境整備し、自分の部屋が分かる様な工夫も行い、出来る事を優先し自立支援の工夫をしている。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない